

内容	番号	評価項目	令和7年度	令和6年度
Ⅰ 教育理念・教育目的	1	教育理念・教育目的は、自養成所の教育上の特徴を示している	3	3
	2	教育理念・教育目的は、法との整合性がある	3	3
	3	教育理念・教育目的は、生徒にとって学習の指針となるよう、具体的に示している	3	3
	4	教育理念・教育目的は、実際に生徒の学習の指針になっている	3	3
	5	教育理念・教育目的は、看護、看護教育、学生観について明示している	3	2.7
	6	看護、看護教育、学生観は、実際に教員の教育活動の指針になっている	3	2.7
	7	教育理念・教育目的は、養成する准看護師が卒業時点においてもつべき資質を明示している	3	2.7
	8	卒業時点に持つべき資質は、看護の質を保障するのに妥当なものとなっている	3	2.3
Ⅱ 教育目標	1	教育目標は、教育理念・教育目的と一貫性がある	3	3
	2	教育目標は、設定した教育内容を網羅している	3	3
	3	教育目標は、具体的で実践可能なものとなっている	3	3
	4	看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長を促す側面から、教育目標を設定している	3	3
	5	卒業後の継続教育の考え方を示した上で、教育目標を設定している	3	2.7
Ⅲ 教育課程・教育活動	1	教職員は、教育課程と授業実践、教育評価との関連性を明確に理解している	3	3
	2	教職員は、教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っている	3	2.7
	3	看護学の内容について明確な考え方と根拠を持って教育課程を編成している	2.7	3
	4	学修の到達について明確な考え方と根拠を持って教育課程を編成している	2.7	3
	5	学生の成長について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している	3	2.7
	6	明確な考え方と根拠をもって科目を構成している	3	3
	7	明確な考え方と根拠をもって単元を構成している	3	3
	8	科目と単元の構成の考え方は教育理念・目的、教育目標と整合性がある	3	3
	9	構成した科目は養成所の特徴をあらわしている	3	2.7

内容	番号	評価項目		
			令和7年度	令和6年度
Ⅳ 授業・学習	1	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されている	3	3
	2	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べている	3	3
	3	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性をもっている	3	2.7
	4	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性がある	3	2.7
	5	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっている	2.7	2.3
Ⅴ 看護実践体験の保障	1	臨地実習施設は、養成所の個別の教育理念・教育目的、教育目標を理解している	3	3
	2	臨地実習施設は生徒の看護実践の学習を支援する体制を整えている	2.7	3
	3	臨地実習指導における生徒の学びを保障するために、臨地実習指導者の役割を明確にしている	2.7	3
	4	臨地実習指導における生徒の学びを保障するために、教員の役割を明確にしている	3	3
	5	臨地実習指導者と教員の共働体制を整えている	3	3
	6	生徒からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示している	3	3
	7	対象者の権利を尊重する考え方に基づいて、生徒への指導を計画的に行っている	3	3
	8	臨地実習において生徒が関係する事故を把握、分析している	3	3
	9	生徒に対する安全教育、安全対策を計画的に行っている	3	2.7
Ⅵ 教員の教育・研修	1	教員が専門性を発揮できるように、教員の担当教科と時間数を配分している	2.7	3
	2	教員が授業準備のための時間をとれる体制を整えている	2.7	3
	3	教育課程の実践者である教員が自ら成長できるよう、自己研鑽のシステムを整えている	2.7	2.7
	4	教員が相互に成長できるよう、自己研鑽システムを整えている	2.7	2.7
	5	教員が計画的に看護研修に参加できるように支援している	3	3

内容	番号	評価項目		
			令和7年度	令和6年度
Ⅶ 卒業・就職・進学	1	卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、計画的に行っている	3	2.7
	2	卒業時の到達状況を分析している	2.7	2.7
	3	卒業時の就職・進学状況を分析している	3	3
	4	卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理している	2.7	2.3
	5	卒業生の活動状況の分析結果を、教育理念・教育目的、教育目標、授業の展開に活用している	2.3	1.7
Ⅷ 地域社会	1	社会との連携に向けて、地域のニーズを把握している	2.3	2.7
	2	看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的にしている	1.7	2
	3	養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段をもっている	2	2
	4	養成所から地域社会へ情報を発信する手段を持っている	2	2.3
	5	養成所が設置されている地域の特徴を把握している	3	2.7
	6	地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れている	1.7	1